

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市吾妻町	西光寺地区	令和2年12月16日	平成31年3月28日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	22.8 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	11.6 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.6 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.2 ha

### 2 対象地区の課題

耕作放棄地が多く、既に山林化しているところも多い。そのようなほ場の隣接農地で耕作している人は、草木の伐採作業の負担が大きい。  
 基盤しているほ場は、土羽仕上げなので除草管理が大変。また除草剤による土羽の崩落も少し見られる。  
 畑の管理者が高齢者が多いので、今後の心配。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在の中心経営体を中心に農地を集積していくが、条件が良いほ場でないと担い手も借り受けないので、早めに基盤整備について検討して行く。

#### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の経営の意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
個人 法人	3経営体 1経営体	-	7.6 ha	-	10.8 ha		

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<b>農地の貸付け等の意向</b> 貸付け等の意向が確認された農地は、9筆、6,828㎡となっている。
<b>農地中間管理機構の活用方針</b> 農地の貸し付けの際は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
<b>基盤整備への取組方針</b> 畑については基盤整備を検討する。
<b>その他</b> 農地の管理とともに、山の管理をしっかり検討し、農地に影響が無いように管理をして行く。